

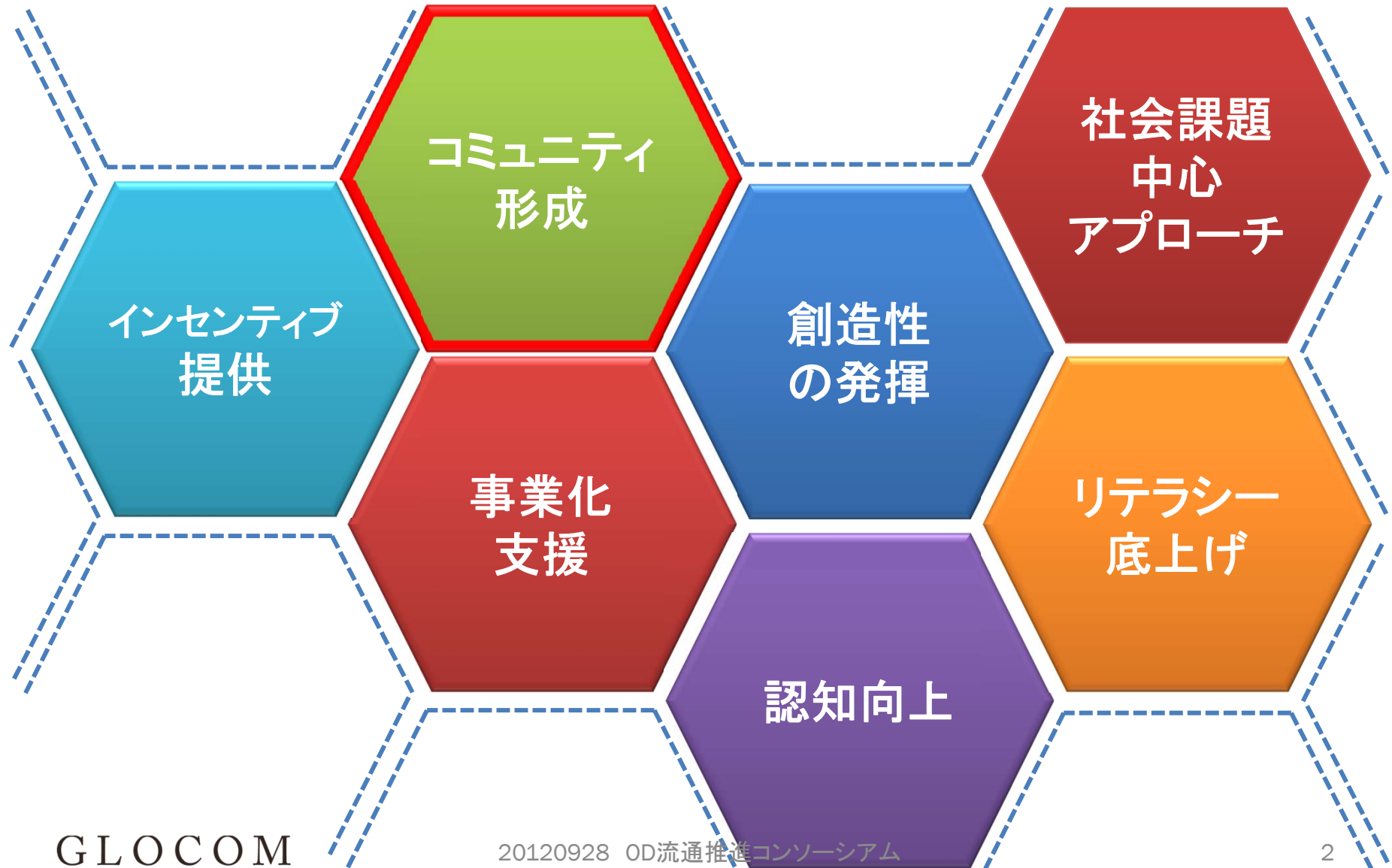
# 国際大学GLOCOMにおける ハッカソン開催など一連の取組み

国際大学GLOCOM 講師／主任研究員  
Open Knowledge Foundation日本グループ

**庄司昌彦 (Masahiko Shoji)**

E-mail: [shoji@glocom.ac.jp](mailto:shoji@glocom.ac.jp), Twitter: @mshouji

# 利活用・普及に重要な要素



# 利活用・普及のための方法

## 1. 開発イベント

- アイディアソン、ハッカソン
- データ発掘・登録
  - データキャンプ(デンマーク)

## 2. コンテスト

- 賞金授与、開発協力、買取り、オーソライズ
  - Open Data Challenge(欧州・OKF)
  - Apps4Finland(フィンランド)
  - Data Journalism Award(Global EditorsNetwork(GEN))
  - 鯖江市
  - 経産省資源エネルギー庁節電スマートフォンアプリ大賞

## 3. 仲介者・中間支援者

- 需要者のニーズを把握し情報公開を政府機関に働きかける
  - Open Data User Group(英国)
- ビジネスインキュベーション
  - Open Data Institute(英国)
- ツール開発、交流
  - Open Knowledge Foundation
- データの整形・加工ビジネス

## 4. ポータルサイト

- ワンストップ提供
- 国だけではなく自治体も開設
  - 英国、米国、フランスなど
  - パリ市、ベルリン市など

# 利活用・普及のための方法

## 5. コンソーシアム

– 会員等にデータを提供

- OD流通推進コンソーシアム
- 社会基盤情報流通推進協議会

## 6. API公開

- 復旧・復興支援制度データベース(復興庁等)

## 7. ランク付け・進捗評価

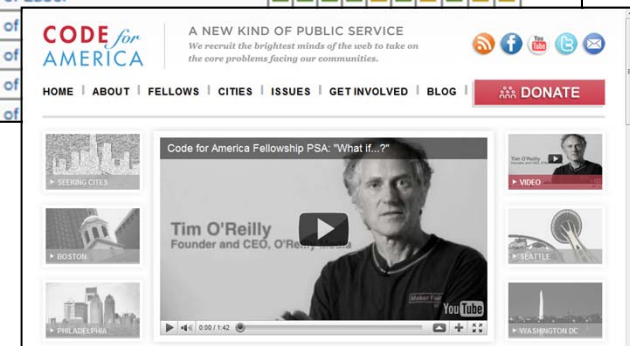
- Tim Berners-Lee” Linked Open Data 5 Star”
- 米国連邦政府

## 8. 技術者・行政マッチング

- Code for America

★	Available on <u>the web</u> (whatever format) but with an open licence, to be Open Data
★★	Available as <u>machine-readable</u> structured data (e.g. excel instead of image scan of a table)

Agency	KEY:									
	High-Value Data	Data Integrity	Open Webpage	Public Consultation	Overall Plan	Formulating the Plan	Transparency	Participation	Collaboration	Flagship Initiative
Agency for International Development	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
Department of Agriculture	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
Department of Energy	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
Department of Education	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
Department of Commerce	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
Department of Defense	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
Department of Health and Human Services	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
Department of Homeland Security	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
Department of Housing and Urban Development	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
Department of the Interior	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
Department of Justice	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
Department of Labor	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■



# ハッカソン (Hackathon)

## ハッカソンとは

- アプリケーション／サービス開発のアイデアを出し合いながら短期間でサービスを実際に開発し発表しあうイベント
- HackをMarathonのようにやり切ることから2つの語を合成
- アイデアソン (Ideathon)
  - チームを作りアプリケーション／サービスのアイデアを出し合いハッカソンの準備をするミーティング

## Hack For Japan

- 東日本大震災後に救援活動や復興に役立つアプリやサービスを開発するイベントを各地で実施



**Hack  
For  
Japan**



# オープンデータ活用 アイデアソン／ハッカソン

## 概要

- 日時: 2回に分けて開催
  - 6月9日アイデアソン
  - 6月30日－7月1日ハッカソン
  - 3週間でリサーチ等が進む
- 会場: 国際大学GLOCOM
- 参加者: 約30名

## 成果

- フューチャーセッションを実施
  - 最初に多様な参加者の対話、関係構築に時間をかける
- 7つのプロトタイプを制作

テーマ
税金はどこへ行った(最優秀プロジェクト)
復興メーター
CKAN日本語化プロジェクト
みどりマップ
みんなの地図帳(子供につくれる社会科マップ)
LocalWiki日本語化プロジェクト
メンターバンク





# JCEJ×GLOCOM データジャーナリズム実践 データから社会問題を発見する（アイディアソン）

- 概要

- 日時: 2012年7月28日
- 会場: 国際大学GLOCOM
- 参加者: 約40名

- プログラム

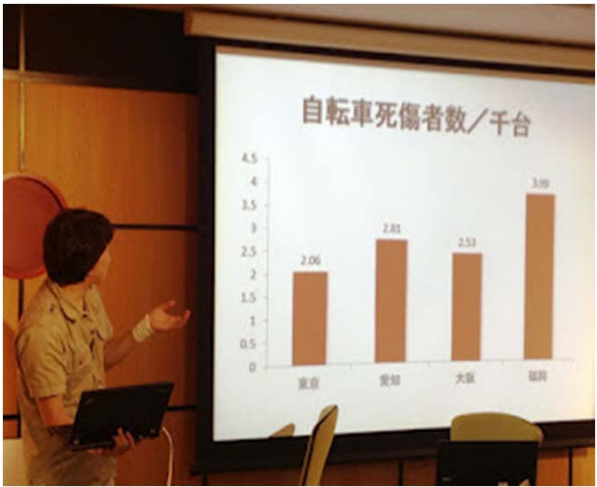
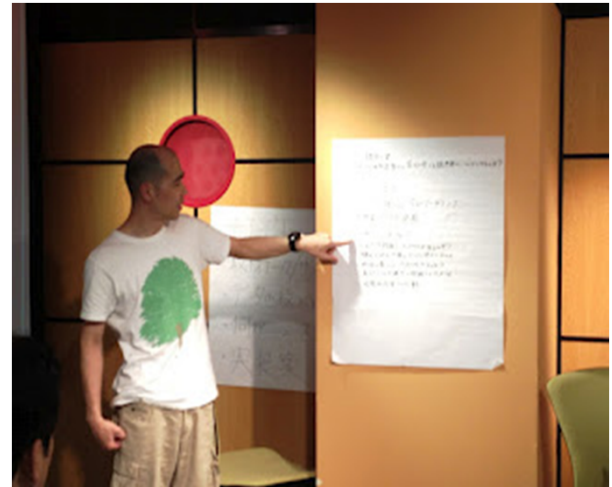
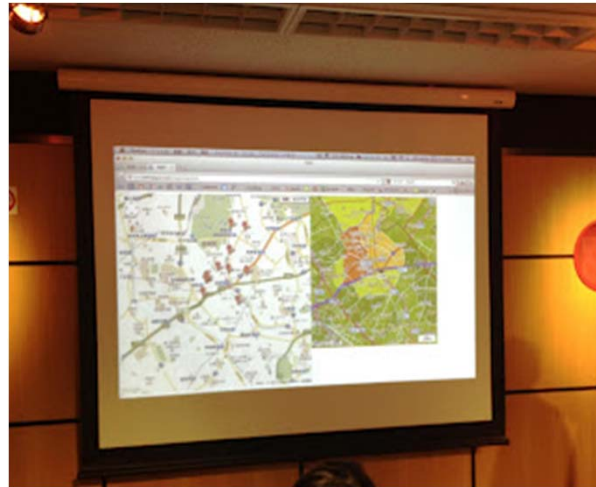
- 「オープンデータについて」
  - 庄司昌彦 / 国際大学GLOCOM
- 「データジャーナリズムの最先端（データジャーナリズムアワードの事例から）」
  - 赤倉優蔵 / JCEJ

- 成果

- Data Journalism Award への応募を目指す
- 8つのアイディアを提案

テーマ
データから見るクラブとクラブ風営法問題
原発補助金漬けの自治体は脱原発についていけるのか?
浪速の無灯火自転車をなくそう
東京都幸せ向上プロジェクト
電動アシスト自転車のデータ公開を!
復興予算は必要なところで使われているか ～復興予算の流れを見せる～
知られざる保育所格差-貧困と子育て環境の負のスパイラル-
いじめをなくそう! Hack Against Ijime





### 欲しいデータ

- ・市町村別、地域毎の保有台数(県警・警視庁による防犯登録データ)
- 登録時に電動アシスト自転車であるという区分も明確にして登録できないか?
- 届付の登録数のデータは市町村毎に保有しているはず

→自分の住む地域の実態が明確になる



データ駆動型調査推進部門

「文のみの保有台数差」  
 - 毎週1回で環境の身のまわりの

地域により保有台数差が存在しているが、その格差は所得格差と連動している?

使用データ

- ・保有台数の格差 (横須賀市行政ID)
- ・年齢別人口 (同上)

乳名10倍から世界10人1人単位

実践室

はじめのハートマップ

想定ユースケース

- ・今の情報 現状の可視化
- ・教育関係者、いじめ対策と組み合わせて可視化

地域(学区別)のいじめ発生件数や学校の組織を可視化

# JCEJ×GLOCOM データ発掘キャンプ

## テーマ：防災

- 概要

- 日時:2012年9月1日13-17時
- 会場:国際大学GLOCOM
- 参加者:26名

- プログラム

- クロストーク「防災とメディア:防災のために何を伝えるか」
- ワーク「防災に役立つデータを発見する」

- 成果

- 20人が2時間集中的に発掘
- 39種類のデータを発掘
- データポータルCKANに登録

テーマ	発掘件数
一家に一枚！枚避難経路マップ	6件
人の気持ちは冷める	10件
災害による帰宅困難者支援のために	5件
台風をやり過ごすための防災情報	6件
災害弱者を助けよう	12件
合計	39件



# 運営経験から

- メンバーの多様性、対話が気付きを与える

- Hack for Japan、JCEJとの協働
- 社会的課題に取り組むNPO関係者等
- エンジニア・アナリスト・ジャーナリストに分類

- やりっ放しにしない

- 成果、レポートをブログ等で公表
- Facebookグループを作成
- 制作途中に出てきた「知」を共有
- データをCKANに集約
- 自主的にプロトタイプを「完成」させる
- 事業化・育成

- リテラシーの向上効果

- データを読み解く
- 社会課題を見出す
  - 「何がニュースになるか？」
- プロジェクトマネジメント

The image shows two overlapping screenshots. The top screenshot is a tax calculator titled "WHERE DOES MY MONEY GO? 税金はどこへ行った?". It asks "あなたの税金がどこで使われているかをお示しします" (We show you where your taxes are used). It has a section for "あなたの世帯タイプは?" (What is your household type?) with options for "単身世帯" (Single household) and "扶養有り" (With dependents). Below that, it asks for "あなたの年間収入を選んでください" (Please select your annual income) with a slider from ¥4,000,000 to ¥220,200. The bottom screenshot is the CKAN website interface, showing a search bar, navigation links, and a list of data sets under the heading "ここで提供されているデータ例" (Examples of data provided here). A blue arrow points from the CKAN website to the tax calculator.

# オープンな政策サイクルと開発イベント

